

平成18年6月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年10月31日
(JASDAQ・コード番号: 6916)

会社名 株式会社アイ・オー・データ機器
(URL <http://www.iodata.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長
氏名 細野 昭雄
問い合わせ先 責任者役職名 総務部部长 IR担当
氏名 山森 光久

Tel : (076) 260 - 3377

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容) 法人税等の会計基準、その他影響額が僅少なものにつき、簡便的な方法を採用しております。

会計処理の方法の最近連結会計年度における方法との相違の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成18年6月期第1四半期財務・業績の概況（平成17年7月1日 ~ 平成17年9月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年6月期第1四半期	15,749	10.0	543		587		435	
17年6月期第1四半期	14,315	2.6	697		680		720	
(参考)17年6月期	68,135	6.5	863	42.1	910	41.9	420	43.9

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
18年6月期第1四半期	29.62	
17年6月期第1四半期	49.05	
(参考)17年6月期	27.99	

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済は、高騰を続ける原油価格の影響や材料価格の高騰からくる消費の停滞不安等の懸念材料はあるものの、企業収益の回復や雇用環境の改善により個人消費についても堅調に推移し、景気は本格的ではないが緩やかな回復基調の方向で推移しました。

当社を取りまくパソコン業界においては、個人需要は安価で高性能なパソコンの発売が需要の喚起を促したことは勿論のこと、大型液晶画面のディスプレイの需要も旺盛な個人消費に支えられ、また法人需要においても企業の業績回復を背景に、パソコンのリプレース需要も追い風になり、積極的な情報化に対する投資を実施する企業が増え、社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）発表によれば、パソコンの国内出荷台数が平成17年7月から9月の四半期で前年同期比10%の伸長が示すとおり、期間を通して好調に推移しました。

こうした状況下で当企業グループは製品の市場における価格競争力の強化に注力し売上の拡大に努めた結果、250GBを中心としたHDD製品、17インチ、19インチ等の大型化が進む液晶ディスプレイ、USBフラッシュメモリを中心に売上高は前年同期で10%増となったものの、一方で利益面においては、材料仕入及び製品の販売を含めた低粗利製品の収益性の改善を目標に利益の確保に努めましたが、仕入面では材料価格の高騰や為替の急変動で影響を受け、また販売面では売れ筋製品の市場価格の下落が期間を通して大きく影響を受けました。このため当第1四半期の業績につきましては、売上高157億49百万円（前年同期比10.0%増）、営業損失5億43百万円（前年同期は6億97百万円の損失）、経常損失5億87百万円（前年同期は6億80百万円の損失）、四半期純損失4億35百万円（前年同期は7億20百万円の純損失）となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年6月期第1四半期	33,348	19,917	59.7	1,355.78
17年6月期第1四半期	30,383	19,313	63.6	1,314.59
(参考)17年6月期	33,874	20,490	60.5	1,394.10

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年6月期第1四半期	288	134	166	3,281
17年6月期第1四半期	1,051	488	2,120	4,381
(参考)17年6月期	959	896	2,167	3,891

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前期末に比べ6億9百万円減少し、32億81百万円となりました。キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は2億88百万円となりました。これは主に、売上債権の減少7億71百万円による資金増加と、税金等調整前四半期純損失5億88百万円、たな卸資産の増加1億39百万円及び法人税等の支払3億25百万円による資金減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億34百万円となりました。これは主に、有形無形固定資産の取得1億13百万円の支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億66百万円となりました。これは主に、配当金の支払1億45百万円によるものであります。

3. 平成18年6月期の連結業績予想(平成17年7月1日～平成18年6月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	35,530	404	224
通期	74,640	1,590	975

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 66円 37銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当企業グループの売上高及び利益の季節的要因として第1四半期(7-9月)は例年パソコンの新製品発売時期の端境期にあたり、業績の進捗状況としてこの期間は厳しい販売環境で推移しており、現状も当四半期利益が損失状況になっておりますが、例年どおり第2四半期(10-12月)の年末需要環境を織り込みまして、平成17年8月22日に公表しました業績予想と変更ありません。

【ご参考】

[製品分類別連結売上高]

(百万円未満切捨)

品目	平成 18 年 6 月期 第 1 四半期		平成 17 年 6 月期 第 1 四半期	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
増設メモリボード	3,408	21.7	3,056	21.4
ストレージ	4,977	31.6	4,375	30.6
液晶	4,133	26.2	3,268	22.8
周辺機器	2,130	13.5	2,277	15.9
特注製品	434	2.8	475	3.3
その他	665	4.2	861	6.0
合計	15,749	100.0	14,315	100.0

添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書、
(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

以上

〔添付資料〕

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成18年6月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成17年6月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成17年6月期
	金 額	金 額	金額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	3,281	4,381	1,099		3,891
受取手形及び売掛金	12,759	12,017	741		13,544
たな卸資産	7,653	5,273	2,380		7,513
その他	1,617	799	817		901
流動資産合計	25,311	22,471	2,840	12.6	25,850
固定資産					
有形固定資産	5,148	5,257	109	2.1	5,152
無形固定資産	587	499	88	17.7	628
投資その他の資産	2,301	2,154	146	6.8	2,242
固定資産合計	8,036	7,911	125	1.6	8,023
資産合計	33,348	30,383	2,965	9.8	33,874
(負債の部)					
流動負債					
支払手形及び買掛金	9,833	7,820	2,013		9,831
短期借入金					20
その他	2,777	2,599	177		2,770
流動負債合計	12,610	10,419	2,191	21.0	12,622
固定負債					
退職給付引当金	156	144	12		145
その他	458	357	101		427
固定負債合計	615	501	113	22.7	573
負債合計	13,226	10,921	2,304	21.1	13,195
(少数株主持分)					
少数株主持分	204	148	56	38.0	189
(資本の部)					
資本金	3,588	3,588			3,588
資本剰余金	4,308	4,308			4,308
利益剰余金	12,279	11,774	505	4.3	12,914
その他有価証券評価差額金	82	17	65	385.3	40
為替換算調整勘定	49	82	33		69
自己株式	292	291	0		292
資本合計	19,917	19,313	604	3.1	20,490
負債、少数株主持分及び資本合計	33,348	30,383	2,965	9.8	33,874

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成18年6月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成17年6月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成17年6月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売 上 高	15,749	14,315	1,433	10.0	68,135
売 上 原 価	14,511	13,277	1,233	9.3	60,067
売 上 総 利 益	1,238	1,038	200	19.3	8,067
販売費及び一般管理費	1,782	1,735	46	2.7	7,204
営業利益(損失)	543	697	153		863
営業外収益	48	58	9	16.0	218
営業外費用	92	40	51	127.0	171
経常利益(損失)	587	680	93		910
特別利益	1	9	8	88.1	9
特別損失	2	0	2	658.2	28
税金等調整前四半期(当期)純利益(損失)	588	670	82		891
税金費用	164	43	207	481.1	417
少数株主利益	11	6	4	66.8	53
四半期(当期)純利益(損失)	435	720	285		420

(3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (平成18年6月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成17年6月期 第1四半期)	(参考) 平成17年6月期
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益(損失)	588	670	891
減価償却費	119	101	535
売上債権の減少額	771	2,659	1,094
たな卸資産の増減額(増加)	139	1,660	580
仕入債務の増減額(減少)	40	2,492	487
その他	173	96	34
小 計	28	1,354	1,419
法人税等の支払額	325	304	476
その他	7	0	17
営業活動によるキャッシュ・フロー	288	1,051	959
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形無形固定資産の取得による支出	113	271	833
投資有価証券の取得による支出	50	0	70
保険契約による支出		37	76
保険契約解約による収入		35	76
その他	29	214	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	134	488	896
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少)	20	2,000	1,979
配当金の支払額	145	120	190
その他	0	0	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	166	2,120	2,167
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	14	83
現金及び現金同等物の増減額(減少)	609	1,542	2,021
現金及び現金同等物の期首残高	3,891	5,913	5,913
新規連結子会社の現金及び現金同等物の 期首残高		11	
現金及び現金同等物の期末残高	3,281	4,381	3,891